



平成30年9月27日  
宇部市

世界で最も歴史ある野外彫刻の国際コンクール

# 『第28回UBEビエンナーレ応募作品展』を開催

【公開一次審査:9月30日(日) 13:00~16:30】

会期:10月1日(月)~11月4日(日) 10:00~17:00 入場無料

会場:ときわ湖水ホール 山口県宇部市大字沖宇部254番地(宇部市ときわ公園内)

山口県宇部市(宇部市常盤町一丁目7番1号、市長:久保田后子)は、2018年10月1日(月)~11月4日(日)に、市内のときわ湖水ホールにて、世界で最も歴史ある野外彫刻の国際コンクール「UBEビエンナーレ」の第28回展に応募のあった、模型作品(実物の約10分の1)を一堂に展示する「第28回UBEビエンナーレ応募作品展」を開催します。【応募総数318点 内海外出品89点42カ国】

応募作品展に先立ち9月30日(日)には、2019年秋の本展で実物を展示する作品15点および入選模型作品40点を定める一次審査を開催。日本を代表する彫刻家、美術評論家ら10名の選考委員による審査の様子を報道関係者および一般来場者に公開します。※インターネットLIVE配信あり。

1961年に国内初の大規模な野外彫刻展としてスタートした「宇部市野外彫刻展」には、これまで向井良吉、柳原義達、佐藤忠良、舟越保武ら日本を代表する彫刻家が参加しています。

2009年からは「UBEビエンナーレ」へと名称を変え、海外アーティストにも広く門戸を開いた国際展形式へと発展。2017年開催の前回展には、29カ国から277件の応募がありました。

第28回展では、国内外の若手アーティストに活躍の場を提供するとともに、市民とアーティストの交流を促進する目的で、「アーティスト・イン・レジデンス部門」と「プロポーザル部門」を新設。応募作品展の会期中には、アーティスト・イン・レジデンス部門で国内外から招へいした若手アーティスト3名が市内に滞在し、ときわ公園・中心市街地・中山間地域を舞台に、市民との協働による作品制作を行います。

## 選考委員:

- 酒井忠康(委員長、美術評論家・世田谷美術館館長)
- 澄川喜一(彫刻家・島根県立石見美術館館長)
- 水沢 勉(美術評論家・神奈川県立近代美術館館長)
- 河口龍夫(現代美術家・金沢美術工芸大学教授)
- 斎藤郁夫(山口県立美術館副館長)
- 不動美里(姫路市立美術館副館長)
- 藤原徹平(建築家・横浜国立大学大学院Y-GSA准教授)
- 日沼禎子(女子美術大学教授)
- 永田晶子(毎日新聞社東京学芸部編集委員)
- 久保田后子(緑と花と彫刻の博物館館長)



「第27回展の応募作品展の様子」

# 『第28回UBEビエンナーレ応募作品展』について

## 【概要】

会期:2018年10月1日(日)~11月4日(日) 10:00~17:00(入場無料) ※火曜日休館

会場:ときわ湖水ホール 電話0836-51-7282 (UBEビエンナーレ事務局)

山口県宇部市大字沖宇部254番地(宇部市ときわ公園内)

主催:宇部市、UBEビエンナーレ運営委員会、毎日新聞社

特別協賛:宇部興産株式会社

助成:平成30年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

お問い合わせ:UBEビエンナーレ推進課(ときわ湖水ホール)内 UBEビエンナーレ事務局

電話0836-51-7282 FAX0836-51-7205 E-mail [ubebiennale@city.ube.yamaguchi.jp](mailto:ubebiennale@city.ube.yamaguchi.jp)

## 【展示内容】

(1)第28回UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)実物制作指定作品15点・入選模型作品40点

(2)第28回UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)の全応募作品(模型やドローイング、写真による作品318点)

## 【新設】UBEビエンナーレ「アーティスト・イン・レジデンス部門」について

### 【概要】

国内外から招へいた3名の若手アーティストが市内に滞在し、地域とかかわりながら作品を制作。

○室内インスタレーション+ワークショップ型(こどもビエンナーレ)

作家・作品名:エレナ レデリ「PARTICIPATORY TEXTILE」 滞在時期:10月

内容:地域から集めた素材を使って、宇部市内の小学生と協働で、立体的な織物を制作・展示。

○プロジェクト型(中心市街地)

作家・作品名:葛谷春光堂「日常劇場 All the world's stage」 滞在時期:10月~11月

内容:商店街を拠点に市民参加型の市街劇を制作・上演。

○屋外インスタレーション+ワークショップ型(中山間地域)

作家・作品名:豊福 亮「UBEラビリンス」 滞在時期:9月~10月

内容:地域から集めた素材や木材を使って、市民と協働で迷路を制作・設置。

## 【新設】UBEビエンナーレ「プロポーザル部門」について

### 【概要】

事前に作品を設置する場所を指定し、その空間に最適な野外彫刻作品を選出。第1弾は、山口県立宇部高等学校創立100周年を記念して、設置場所を同校内とし、歴史的背景、特性等を生かした作品を募集。

10月1日(月)に招へいアーティストと作品プランを発表。

選考委員:酒井忠康・澄川喜一・水沢勉・藤原徹平・日沼禎子・久保田后子

## UBEビエンナーレについて



戦後の復興期、工業都市として飛躍を続けた宇部市は、その代償として公害問題に悩むようになり、緑化運動で街の再生を図りました。その中で起こった「街を彫刻で飾る運動」を原点に、21世紀に入ってからは国際展形式を取り入れ、海外作品も積極的に募集。「新人作家の登竜門」としても知られているほか、今日のアートによるまちづくりの先駆的な事業としても高い評価を得ています。

同展覧会の審査は2回。2019年秋に開催する第28回展については、2018年9月30日(日)に、一次審査を実施。全応募プランの中から、実物制作指定プランとして15点を選出し、2019年9月28日(土)の二次審査で大賞含む各賞を決定します。